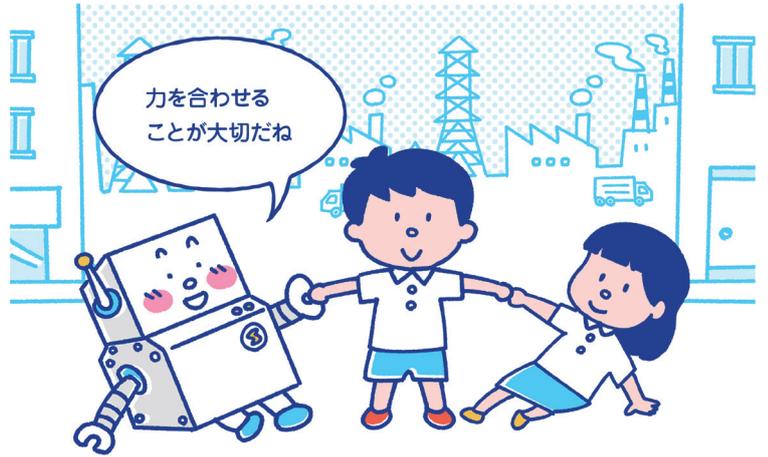


エネルギー ミックスって何？

いろいろな発電所

発電方法にはそれぞれの得意・不得意があります。また、何か一つの発電方法に頼っていると、その一つがうまくいかなかったときに困ってしまいます。私たちの生活に必要な電気を、さまざまな発電方法を組み合わせてつくることをエネルギーミックスといいます。



電気をつくるもとになるエネルギー資源っていろいろあるんだね。



取り上げた発電所のちがいを、簡単にまとめてみるよ。

◆いろいろな発電のちがい

	発電の効率が良いか	発電が安定しているか	環境にやさしいか
火力発電所	◎電気をつくる量が調整しやすく、効率が良い	◎発電量は安定かつ自由に調整しやすい	×二酸化炭素を出す
水力発電所	◎水の確保もかかなくて効率が良い	●水不足でなければ発電は安定している	▲建設するときに自然環境への影響が大きい
原子力発電所	◎少ない量の燃料でたくさんの電気がつくれる	●高出力で安定するが低出力にはしづかい	▲二酸化炭素は出ないが放射性廃棄物が残る
地熱発電所	●火山の多い日本には有利な発電方法	◎自然エネルギーの発電では安定性が抜群	▲建設するときに自然環境への影響が大きい
太陽光発電所	×使う面積に対する発電量が少ない	▲昼夜と天気の変化で大きく変わる	●環境負荷は比較的少ない
風力発電所	▲風が吹き続ける場所なら悪くない	×風の強さや向きはすぐ変化してしまう	●環境負荷は比較的少ない



結局、どれが一番良いのか分からなくなっちゃった。



一番なんてないよ。いろいろ使うのがいいんだ。



どういこと？



例えば、もしも石油が少なくなって高くなったら、火力発電だけに頼るのは大変になってくるでしょ。



そうか。いろいろな方法で発電していれば、どれかがダメになっても安心だね。



うん。それから、私たちの暮らしに使う電気は昼が多く、夜は少ない。そこでそれぞれの発電所の得意なことをうまく組み合わせて発電するんだ。



暮らしの電気をさまざまな発電で支える。それが「エネルギーミックス」なんだね。

まとめ

得意不得意を組み合わせ、毎日の電気をきちんと供給

